

形式：オンラインセミナー（Live 配信）	補足：Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は10日間程度）
ジャンル：食品	講習会コード：t d s 2 0 2 5 0 8 2 0 h 1

食品には詳しくても包装の知見について不安な R&D 担当や、現場で設備に携わる技術者に！ 食品の品質や衛生、おいしさを担う包装について、その機能や形態・素材の各論から衛生管理までを『食品機械のプロ』が徹底解説します。また、SDGsなどを踏まえた『環境に配慮した包装』の最新動向について紹介します。

食品容器・包装材料の基礎・各論と環境に配慮した素材の最新動向

～ 品質保持 / ユニバーサルデザイン / 環境対応 / 安全・安心を担保する食品包装 ～

講師：木本技術士事務所 所長 木本 晋作氏

1985 年 東芝精機株式会社(現:芝浦メカトロニクス株式会社)入社後、岩井機械工業株式会社、中央設備エンジニアリング株式会社(現:中設エンジ株式会社)、日本ギア工業株式会社を経て、2019 年に木本技術士事務所(<https://www.kimoto-proeng.com/>)を開業。飲料業界でのパイプレスプラント『移動タンクシステム』をはじめとする食品・飲料・医薬品の製造機械装置の設計開発や、食品製造設備ラインの工程設計・生産技術・設備提案へ携わった経験・実績を土台とし、食品製造機械の新製品設計・開発プロセス支援、食品工場の工場改善、衛生管理指導・支援、技術者教育・育成の技術コンサルタントとして活動中。

- 日程 2025 年 8 月 20 日（水） 10：00 ～17：00
- 受講料 36,300 円（税込／テキスト付） ※6/13（金）までにお申込の場合、29,040 円（2 割引）となります

I. 包装産業の中で食品包装が占める位置付け

- 1. 包装材料の世界における位置付け
- 2. 包装機械の世界における位置付け

II. 包装材料と包装機械

- 1. 包装材料の産業規模
- 2. 包装機械の産業規模

III. 包装設計の基本と機能

- 1. 包装への要求機能
- 2. 包装を取り巻く環境変化

IV. 包装容器の形態

- 1. 包装容器の主な形態
- 2. 袋（Pouch）
- 3. 容器（Container Tray）
- 4. フィルム包装
- 5. ラッピング（Wrapping）
- 6. その他

V. 食品包装に要求される包装機能と包装技法

- 1. 包装に要求される具体的な機能
- 2. 加工食品の変質と防止法
- 3. 代表的な各種包装技法
- 4. 湿度を防止する包装技法
- 5. 酸化を防止する包装技法
- 6. 水分を調整する包装技法
- 7. 微生物制御による包装技法

VI. 食品包装における衛生性能と衛生管理

- 1. 食品包装に必要な衛生性能
- 2. 食品包装の保護性（密封性）
- 3. 食品の安全・安心に必要な衛生管理
- 4. 異物混入（コンタミ）防止と検査方法

VII. 環境に配慮した包装素材の最新技術動向

- 1. 包装素材における環境対応
- 2. 食品包装に求められる SDGs 対応
- 3. 循環型社会（排出抑制、リサイクル等）への対応
- 4. 食品容器・包装素材の最新動向

VIII. 質疑応答

<本講座での習得事項>

- 1.包装産業と包装機械の市場動向
- 2.包装素材の基礎と各論(特に食品包装に必要な包装機能など)
- 3.食品包装の役割と品質保持
- 4.食品包装における衛生管理
- 5.環境に配慮した素材の最新技術動向

<講義概要>

包装産業は約 6 兆円規模で、ここ数年横ばいの状態で推移しています。特に容器包装は商品を輸送・保管・流通・販売・使用するための重要な役割があります。特に包装産業のうち 5～6 割は食品の包装として使用されているため、食品と包装との関係が非常に強いといえます。今や食品包装がなければ、冷凍食品やレトルト食品、乳飲料や清涼飲料、ヨーグルトなどの液体食品等々に用いられ、商品として容器包装がなければ成り立ちません。

包装には、「容器に対する保護性」、「容器を使いやすくする利便性」、「容器説明・表示などの情報伝達」の 3 つの基本的な役割があり、その役割を達成するために必要な機能が要求されます。その一方で近年、包装産業を取り巻く社会環境は変化していて、商品の包装を検討するにあたっては社会環境を配慮した素材開発や包装設計が求められています。

容器包装を設計する場合のキーワードは、「品質保持」、「ユニバーサルデザイン」、「環境対応」、「安全・安心」を担保できる機能が要求されていることから、循環型社会に向けた今後の食品包装の開発事例を交えて解説いたします。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）


FAX
03-6261-7924

申込講座	2025/8/20 食品容器・包装材料の基礎・各論と環境に配慮した素材の最新動向		
会社名※			
所在地※ （請求書等の送付先）	〒		
参加者①	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
	会員登録	☐ 登録する ☐ 登録しない （登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）	
参加者②	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
	会員登録	☐ 登録する ☐ 登録しない （登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）	
支払方法※	☐ 銀行振込（紙請求書） ☐ 銀行振込（PDF 請求書） ☐ カード支払い ☐ 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	☐ [] 月 [] 日ごろを予定している ☐ 未定のため後日連絡する		
備考※			

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普） 0 9 7 3 5 2 2
名義	株式会社テックデザイン

主 催 申込・問合せ先	名 称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住 所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電 話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		